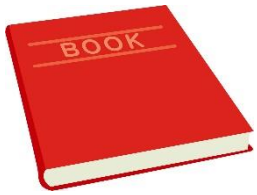
こばとの保育と教育

小学校とその先を見据えて



小学校に楽しく通えるように

小学生になったときに困らないように、楽しい小学校生活が送れるように、送り出してあげたい。

そのために【文字・数字】に早いうちから慣れ親しんでほしいと考えています。

学ぶ楽しさを感じ、継続できるよう、様々な工夫をしています。

長く使える教材選び

教材を専門に扱う会社と連携し、就学後でもしっかり使える良質な教材を選んでいます。

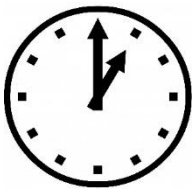
大切に使う心

各自の文具を各自で負担することにより、園児が「自分の物」であるという認識が生まれ、物を大切にする心も育てる意味があります。

自分で考える

今、何をするとき？周りはどんな状況なの？

一人一人の成長度合いに合わせた学習、数字や言葉を理解する力が身に付くカリキュラムを用意しています。



周りがみえていないと、自分の身に危険が迫っているかもしれないという場合の判断が遅れたり、危ないことに巻き込まれてしまう可能性も出てきます。

どんな場合でも聞き分ける力で自分の身を守りきれる子に育つのがねらいです。

保育士は、園児の言動を日々観察し総合的に判断しています。

預かるだけではなく各年齢に適した成長具合を週案・月案・個人記録としてデータで残し文部科学省が指針を掲げている「10の姿」と照らし合わせながら取り組んでいます。

その中で保護者さまの保育環境に関する質問やアドバイスなどやり取りする場面も多くあります。